

プラチナの 医療需要

医療のトレンドがプラチナ 需要の成長を支える

2024年のプラチナ需要全体の4%を占める医療分野の需要は、4年連続で増えて9.6トンに達した。今年はさらに4%伸びて10.0トンになる予測だ。

昨年の医療のプラチナ需要の中で割合的に一番伸びたのはガン治療だった一方で、量的に最も多かったのは医療機器のプラチナ需要だ。

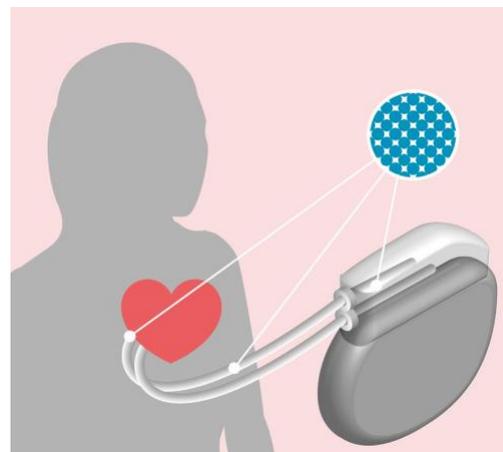
プラチナを医薬品有効成分(API)として使うテクノロジー企業大手のヘレウスによると、プラチナは化学療法の半数で使われており、医薬品有効成分の製造と有効性を高めるために重要な役割を果たしている。

世界的に人口が増えて高齢化も進む現在はガン患者が増える可能性が高まっている。世界保健機構(WHO)は2040年までに新たにガンにかかる人が50%増えると予測。その中では医療分野のテクノロジーと診断の発達がガンの早期発見と治療につながる。プラチナベースの医薬品は有効な治療薬としてますます重要になり、医療分野のプラチナ需要の成長を支えることになるだろう。

APIに使われる白金族金属の中ではプラチナが主なものだが、それ以外にもルテニウムも将来的にガン治療に使われるようになるかもしれない。パラジウムとイリジウムを使う抗ガン剤も研究開発が進んでいる。

医療機器に使われるプラチナ

最近の医療現場では患者の負担を減らすために、皮膚切開を最小に抑える低侵襲、あるいは切開を行わない非侵襲手術及び治療を行う流れになりつつある。そのような手術や治療に使われるカテーテル装置やインプラント装置は正確に治療部位に届き、アレルギー反応が起きないものでなければならない。



さらに体内に医療機器を埋め込む際にはX線下でも見えることが重要だ。ゴールドやプラチナなどの貴金属は、優れた放射線不透過性を持ち酸化や腐食に対する耐性も高いため、医療機器の材料として広く使われてきた。

日本の田中貴金属は、心血管疾患から脳神経血管内治療まで、高品質の貴金属を用いるメディカル製品を幅広く提供している。最近ではプラチナ合金ワイヤーを含むX線を透過しにくい視認性の高い貴金属商品を発表した。

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Institutional Distribution, _____

bclifford@platinuminvestment.com Edward Sterck, Research,

esterck@platinuminvestment.com



WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com

免責条項: © 2025 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複写、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。